【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成27年8月13日(2015.8.13)

【公開番号】特開2014-8581(P2014-8581A)
【公開日】平成26年1月20日(2014.1.20)
【年通号数】公開・登録公報2014-003
【出願番号】特願2012-147820(P2012-147820)
【国際特許分類】
*Ｂ２４Ｂ　9/14　(2006.01)*
*Ｂ２４Ｂ　41/06　(2012.01)*
*Ｂ２４Ｂ　49/16　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｂ２４Ｂ　9/14　Ａ
Ｂ２４Ｂ　41/06　Ｚ
Ｂ２４Ｂ　49/16

【手続補正書】
【提出日】平成27年6月26日(2015.6.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
眼鏡レンズを保持する一対のレンズチャック軸と、前記レンズチャック軸の片方を他方側であるチャック方向に移動させて眼鏡レンズをチャックするレンズチャックユニットと、を備える眼鏡レンズ加工装置において、
前記レンズチャックユニットは、
第１端部と第２端部とを有する板バネであって、チャック方向に移動される前記レンズチャック軸の後端側に前記第１端部が連結された板バネと、
前記板バネの第１端部と第２端部との間の中点部及び前記第２端部の一方を支点として、前記板バネのバネ力が働く方向であるチャック方向に前記板バネを回転可能に支える回転支持部と、
駆動源を持ち、前記回転支持部によって支持された前記板バネの回転で前記第１端部をチャック方向に移動させるように、前記中点部及び前記第２端部の他方を移動させる移動手段と、
前記板バネのバネ力が働く方向への変形を検出する検出器と、有し、
装置は、前記板バネのバネ力によって所定のチャック圧で眼鏡レンズがチャックされるように、前記検出器の検出結果に基づいて前記駆動源の駆動を制御する制御手段を備えることを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。
【請求項２】
請求項１の眼鏡レンズ加工装置において、
前記第１端部、前記中点部及び前記第２端部の１つが前記板バネの長手方向へのスライド移動を不能に連結され、他の２つが前記板バネの長手方向へのスライド移動を可能に連結されていることを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。
【請求項３】
請求項１又２の眼鏡レンズ加工装置において、前記制御手段は、前記検出器の検出結果に基づいて所定の第１チャック圧で眼鏡レンズをチャックするように前記移動手段の移動を

制御した後、第１チャック圧より大きな所定の第２チャック圧で眼鏡レンズがチャックするように前記移動手段の移動を制御することを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
（１）　眼鏡レンズを保持する一対のレンズチャック軸と、前記レンズチャック軸の片方を他方側であるチャック方向に移動させて眼鏡レンズをチャックするレンズチャックユニットと、を備える眼鏡レンズ加工装置において、前記レンズチャックユニットは、第１端部と第２端部とを有する板バネであって、チャック方向に移動される前記レンズチャック軸の後端側に前記第１端部が連結された板バネと、前記板バネの第１端部と第２端部との間の中点部及び前記第２端部の一方を支点として、前記板バネのバネ力が働く方向であるチャック方向に前記板バネを回転可能に支える回転支持部と、駆動源を持ち、前記回転支持部によって支持された前記板バネの回転で前記第１端部をチャック方向に移動させるように、前記中点部及び前記第２端部の他方を移動させる移動手段と、前記板バネのバネ力が働く方向への変形を検出する検出器と、有し、装置は、前記板バネのバネ力によって所定のチャック圧で眼鏡レンズがチャックされるように、前記検出器の検出結果に基づいて前記駆動源の駆動を制御する制御手段を備えることを特徴とする。
（２）　（１）の眼鏡レンズ加工装置において、前記第１端部、前記中点部及び前記第２端部の１つが前記板バネの長手方向へのスライド移動を不能に連結され、他の２つが前記板バネの長手方向へのスライド移動を可能に連結されていることを特徴とする
（３）　（１）又は（２）の眼鏡レンズ加工装置において、前記制御手段は、前記検出器の検出結果に基づいて所定の第１チャック圧で眼鏡レンズをチャックするように前記移動手段の移動を制御した後、第１チャック圧より大きな所定の第２チャック圧で眼鏡レンズがチャックするように前記移動手段の移動を制御することを特徴とする。